

地球温暖化問題

議論から行動へ ～低炭素社会の実現に向けて～

入場
無料



2009年 **2月7日** ㊦ 13:30～17:00 東京大学 安田講堂

※東京大学ではウォームビズを実施しておりますので、当日は暖かめの服装でお越し下さい。

今、世界は実質的な温室効果ガス削減に向けた取り組みを強化しています。地球温暖化については、もはや次世代の問題として議論されるのではなく、現代の課題として行動を起こすことが求められています。

2008年2月に開催したIR3S 公開討論会では、ポスト京都議定書を見据えた日本の戦略について、産業界の代表者を招き、議論を行いました。本シンポジウムでは、その後の国際交渉の現状や日本における中期目標策定の動向、そして、企業、NGOなどの取り組みの紹介を通じ、低炭素社会を実現するために、今後、日本がどのように取り組むべきかについて考えます。また、国際社会における日本のリーダーシップの在り方や、各個人、大学、企業、NGOなどの行動についても議論を深めます。

サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)に関する
詳しい情報、参加お申し込みはwebサイトから

▶ <http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>

本シンポジウムは、文部科学省科学技術振興調整費「戦略的研究拠点育成」事業により開催されます。

議論から行動へ

～低炭素社会の実現に向けて～

入場
無料

2009年 2月7日 土 13:30～17:00 東京大学 安田講堂

●主催：東京大学 IR3S ●協賛：日本経済新聞社(予定)



■プログラム

13:30-13:35	開会挨拶	武内 和彦	東京大学 サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 副機構長
13:35-13:50	ビデオメッセージ	ラジェンドラ・パチャウリ	気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 議長
13:50-14:20	特別講演	「行動の構造化による低炭素社会の実現」	
		小宮山 宏	東京大学総長・サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 機構長
14:20-14:40	講演	「気候変動の将来枠組みと低炭素社会への移行について」	
		松橋 隆治	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
14:40-15:00	講演	「企業行動から見た日本の気候変動政策の課題」	
		一方井 誠治	京都大学経済研究所 教授
15:00-15:20	休憩		
15:20-16:55	パネルディスカッション	「日本は低炭素社会をどう実現していくか？」	
	司会	住 明正	東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ (TIGS) 統括ディレクター・教授
	パネリスト	一方井 誠治	京都大学経済研究所 教授
		大野 輝之	東京都環境局都市地球環境部 部長
		大林 ミカ	駐日英国大使館環境エネルギー部 気候変動プロジェクト政策アドバイザー
		小林 喜光	三菱化学株式会社 代表取締役社長
		清水 正巳	日本経済新聞社 論説委員
		松橋 隆治	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
		湯原 哲夫	東京大学 サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 特任教授
			(五十音順)
16:55-17:00	閉会		

※敬称略 ※講演者等は、現在の予定であり変更する場合があります。



会場のご案内

東京大学 安田講堂

(東京都文京区本郷7-3-1 東京大学内)

[交通のご案内]

- 地下鉄
丸の内線本郷三丁目駅より徒歩10分
千代田線根津駅より徒歩10分
南北線東大前駅より徒歩8分
- 都バス
JRお茶の水駅より
茶51駒込駅、王子駅又は東43荒川土手行
東大正門前下車
- 学バス
JRお茶の水駅より
学07東大構内行 — 東大(構内バス停)下車

お申し込み方法

参加ご希望の方は、下記ホームページからお申し込み下さい。受講券メールを先着順にて事務局より発送いたします。
なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申し込みはwebサイトから ▶ <http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>